

事業計画書（実績書）

令和7年3月31日

団体名 社会福祉法人綾部市社会福祉協議会



事業の目的 (何のために行う事業なのか など、事業の趣旨や目的を記入してください。)	電気やガス料金、生活必需品や食料品を含む物価が高騰し生活に大きな影響を与える中で、生活困窮者を支援するために行う「困窮者緊急生活サポート事業」（ライフラインバンク）を安定的に継続するための事業を実施する。
事業の名称	生活困窮者緊急支援事業
事業費 (市補助金)	825,000円 (825,000円)
補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。)	・米や日持ちするレトルト食品、缶詰等の食料品の購入費。 ・日用品、衣類、寝具、調理用具、暖房器具等の生活用品の購入費。 ・就職面接用のスーツ等の購入費用。 ・食料品や物品を保管するための備品、消耗品、維持管理費用。 ・市民や団体、事業所等に生活困窮者に対する理解を広めるための活動費用、また理解者から物資提供の協力を得る仕組みづくりにかかる費用。 ・本事業に係る人件費。
事業実施期日	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
事業実施場所	市内一円
事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	1. 生活困窮者を支援するためのライフラインバンクの整備を進める。 2. 生活困窮者のいばしょと出番づくりのサポーターである「わん★びーす」サポーターの集まる場を設け、生活困窮者に対する理解を市民に広め、物品の寄付や早期相談につなげていただく等の協力者や団体を増やす方法を検討し実践する。
補助金の効果（成果） (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	1. ライフラインバンクの整備および支援の成果 令和6年度のライフラインバンクによる物資提供は120件。コロナ禍に続き物価高騰が生活困窮者の家計を圧迫している中で、本会の総合相談窓口には生活困窮者からの相談が寄せられており、物資提供による支援は「助かる」との声が非常に多かった。所持金のない人、電気や水道、電話等が止まっている世帯もあり、次の給料日や年金支給日までの間に家計改善等の相談とセットで物資提供を行うことが自立支援を行う上で有効であり、継続的な相談支援を行うことができた。生活福祉資金の交付や生活保護決定までの間など公的制度につながるまでの間に食料等提供により支援するケースもあった。 食料品を保管する保管庫、採用面接用ポロシャツ（女性）、採用面接履歴書、水道停止・凍結時用の水缶、日持ちがする食料品の購入や整備を行い、福祉ホールに置けない物を、旧社協の家つどい（中山町）に一時保管した。 2. 生活困窮者に対する理解を市民に広め、物品の寄付や早期相談につなげていただく等の協力者や団体を増やすための実践の成果 (1) わん★びーすサポーターへの協力呼びかけ コロナ禍で中止していたわん★びーす定例会を3年半ぶりに開催し、生活困窮者支援の現状と、ライフラインバンクやフード・ドライブの取組状況を報告し今年度の取組への協力を呼び掛け、9月3日に打ち合わせ

会議を実施。フード・ドライブの準備から運営まで8日間、サポーター12名、当事者3名、市の就労支援員1名の協力を得た。本会が実施する生活困窮者等就労準備支援事業等と連携することによって当事者の参加が得られた。

(2) フード・ドライブ事業を初実施した。

名称：第2回物価高騰支援 フード・ドライブ in AYABE「年越し応援プロジェクト」

とき／ところ：

- ・食料品と日用品の募集：11月11日～11月22日／綾部市福祉ホール
- ・食料品と日用品の配布等：12月14日（土）13時～15時30分／あやべ日東精工アリーナ

内容および結果：ライフラインバンクから発展し、歳末たすけあい運動の一環として、市民の皆様などに食品や日用品の提供を呼び掛けて、集まった品物を生活に不安や困難を抱えている方などに提供する取組（フード・ドライブ）を昨年に引き続き実施した。個人78人4事業所3団体から2,324点の食品・日用品と米294kgが寄せられ、51世帯に提供した。物資の仕分け搬入、当日の運営等に生活困窮サポーター「わん★ぴーす」と当事者に協力いただいた。当日は京都府物価高騰対策・生活困窮者支援事業により年越し支援セット（食料・生活必需品）を配布した。生活福祉資金コロナ特例貸付を申請された方にも案内し、相談を希望される方に生活困窮者自立相談支援事業相談員などが後日相談対応した。

成果：生活困窮者の困りごとに対するたすけあい活動が必要であることを地域課題として市民に協力を呼び掛けることができた。昨年に引き続き開催し後述するフード・パントリーを含めて本会広報紙上で取組状況を報告することで、年間を通じて米や食料品を提供いただくことが昨年までより増えた。本会で社会福祉士の実習受け入れをした大学生2名の参加により活動を知った綾部中学校生徒有志が校内で食料品提供の協力を呼び掛けるなど、協力者の広まりがあった。

課題：本会の取組や支援状況、相談窓口がまだまだ認知されておらず、情報発信が課題。

(3) フード・パントリー「もぐもぐレスキュー」を2ヶ月に1回のペースで実施した。

とき／ところ：6月28日、8月30日、10月25日、2月28日、いずれも（金）12～13時／あやべ・日東精工アリーナ（6月のみ綾部市福祉ホール）

内容：京都生協から毎月食料品の提供をいただくことになったことをきっかけにフード・パントリーを企画。市内にフードバンク等の団体がないため本会で自主開催した。市民への啓発と早期相談のきっかけづくりが目的。

成果：延べ133世帯が参加し、25件の相談につながった。

(4) 出前講座等を実施し生活困窮者支援の現状とライフラインバンク等への理解と協力を呼び掛けた。

・8月21日 出講「生活困窮者支援について」（地域包括支援センター連絡会）

・8月28日 出講「生活困窮者支援について」（綾部市民児協地区別全員研修会）

・10月16日 出講「生活困窮者支援について」（中部地域包括支援センター主催 中部圏域事例検討会）

・2月13日 出講「生活困窮者支援について」（綾部市自殺防止対策連絡会）

収支予算書（計算書）

令和7年3月31日

団体名 社会福祉法人綾部市社会福祉協議会

（単位 円）

収 入 の 部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	市 補 助 金	8 2 5 , 0 0 0	8 2 5 , 0 0 0	
	社協財源	0	0	
	合 計	8 2 5 , 0 0 0	8 2 5 , 0 0 0	
支 出 の 部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	人 件 費	6 0 0 , 0 0 0	5 1 5 , 5 2 4	担当職員の給与の一部
	事 業 費	2 2 5 , 0 0 0	3 0 9 , 4 7 6	消耗品費 272,048 水道光熱費 37,428
	合 計	8 2 5 , 0 0 0	8 2 5 , 0 0 0	
差 引		0	0	

ライフラインバンク（綾部市社協）からの食料等の提供

年度	件数	内容
令和6（2024）年度	120	【提供】113（ライフラインバンク82件、L&F50件＊併用あり）／食料品、野菜、米、自転車など 【貸与】7／ウォータータンク、電話機、カセットボンベ、炊飯器、計量カップ、ケトル、IH
令和5（2023）年度	193	【提供】186／食料品、野菜、米、自転車、洗濯機、コートなど 【貸与】7／スーツ、ストーブ、扇風機、カセットコンロ、ランタン、湯たんぽ、電話機
令和4（2022）年度	112	食料セット（1週間分）、野菜、米、カセットボンベ、ストーブ、ランタン、電子レンジ、炊飯器、なべ、洗濯機、掃除機等。
令和3（2021）年度	34	米、野菜、カレー、缶詰、スーツ、ビジネスバッグ
令和2（2020）年度	12	米、野菜、カレー、缶詰
令和1（2019）年度	19	米、ポリタンク、カセットボンベ、カセットコンロ、ランタン（簡易照明）
平成30（2018）年度	11	米、カセットボンベ、カセットコンロ、ランタン（簡易照明）、簡易ストーブ
平成29（2017）年度	18	米
平成28（2016）年度	12	米

※上記の令和4（2022）の件数には、物価高騰対策緊急支援事業の物資は含まれていない。

※上記の令和5（2023）の件数には、物価高騰対策緊急支援事業の物資やフードドライブ、フードパントリーの物資提供は含まれていない。

※上記の令和6（2024）の件数には、物価高騰対策緊急支援事業の物資やフードドライブ、フードパントリーの物資提供は含まれていない。

フードバンク京都による食料提供

年度	件数	内容
令和6（2024）年度	0件	なし
令和5（2023）年度	1件	ドライ食品、青果、米、飲料
令和4（2022）年度	4件	ドライ食品、青果、米、飲料
令和3（2021）年度	15件	ドライ食品、青果、米、飲料